

(別記様式)

令和7年度 京都府立朱雀高等学校 通信制課程 学校経営計画(スクールマネジメントプラン)( 計画段階 ・ **実施段階** )

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>1 生涯学習と社会的自立の基盤となる基礎学力を身に付け、社会に主体的・自律的に参画できる心豊かでたくましい人間の育成を目指す。</p> <p>2 生徒の期待に応え、生徒の多様性が尊重される学校体制を作るとともに、生徒自身が将来に展望をもち、学び続けられる「生徒本位」の学校づくりに取り組む。</p>	<p>1 多様な生徒が在籍している現状を鑑み、ICTを活用した学習支援、連絡等の効率化等について実施方法について研究した。</p> <p>2 生徒の単位修得と卒業に向けて、教職員全体で、指導方法の一部改善が進んだ。</p> <p>3 教職員全体で特別支援教育に係る理解を一層深めカウンセリングマインドを基盤にした対応能力の向上に努めた。また、学習に係るUD化を進めた。教職員の一層の理解深化を図るため、研修機会を実施した。</p>	<p>1 ICT機器を活用した効果的指導方法の具体化について研究するとともに実践する。また、生徒の自学自習が一層進むよう学習支援に活用する。</p> <p>2 卒業者数、単位修得者数の増加を目指し、従来の指導方法等をさらに改善を進める。</p> <p>3 様々な支援が必要な生徒の学習が円滑に進むよう教職員の理解を一層深め、対応能力の向上を図る。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題		
1 組織・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営方針に即した組織や体制を整え、学習指導の充実、改善に努める。</li> <li>・通信制課程の特色を外部に発信する広報活動の拡充を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営計画に基づき、分掌・担任・教科が連携して、具体的な取組を実施することで、教育活動の充実に努める。</li> <li>・ホームページの充実と活用促進を図るとともに、説明動画を作成し広報を行う。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用したシステムを分掌・担任・教科で活用し生徒の学習状況が把握でき、生徒の学習支援につなげることができた。</li> <li>・通信制の学習の進め方について動画を公開し、各種説明会で活用した。</li> </ul>
2 教育課程の編成と実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信制、単位制の特色を生かし、多様な生徒にそれぞれの能力・興味・関心に応じた幅広い選択科目を設置する。また、多様な学習履歴を持つ転編再入学生の学習が円滑に進むような教育課程の編成を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力の充実に主眼に置いた科目と特色ある科目をバランス良く設置し、生徒の様々な要望に応える。</li> <li>・特色ある教育課程の編成を前提に、本人の能力適性を見極め、生徒自身が適切な受講科目登録ができるよう指導する。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な学修履歴のある生徒が順調に学習が進むよう必修科目の修得を第一に据えながら、学校設定科目の柔軟な選択が可能となるよう受講登録条件の見直しをした。</li> <li>・次年度以降も継続的により良い教育課程の編成に努める。</li> </ul>
3 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自ら学び自ら考える力を培うことを基本とし、生徒の学習進捗状況を把握しながら個に応じた適切な指導ができるガイダンス機能を整える。</li> <li>・基礎学力の定着を主眼に置いたレポート作成やスクーリング指導の充実を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習方法の助言をオンデマンド又はオンラインで発信する等、生徒の学習意欲を高めることができる発信方法を工夫する。</li> <li>・「学習ガイド」の内容を生徒が理解しやすいような内容になるよう継続的に改善する。</li> <li>・学習内容の定着に重点を置き、かつユニバーサルデザインを意識したレポートやテスト作りの工夫を学校全体で共有しながら取り組む。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年10回発行する朱雀だよりに加え、アプリケーションを利用し生徒に適宜必要な情報を提供した。WEBに掲載している学習の進め方に関する動画9本とともに、生徒が学習意欲を持ち、計画的に学習に取り組めるように努めた。</li> <li>・オンデマンド又はオンラインを利用した科目を来年度一部開講するとともに効果的な活用について研究を継続。</li> </ul>

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題		
4 生徒指導	・様々な年齢層の生徒、支援を必要とする生徒、仕事や家庭と学習の両立を図る生徒など、多様な生徒の学校生活が充実するように援助する。	・よりよい学習環境づくりを推進するため、全教職員で登下校時に校門立哨指導を実施する。 ・全教職員で放課後の校舎内外の清掃等を、全てのスクーリング日、テスト日で実施する。	B	B	・生徒指導部が率先して登下校時に校門にて立哨指導を行い、全教職員が当番制にて実施した。 ・全教職員による体制を整え、清掃活動を実施した。
5 特別活動	・生徒会活動や学校行事、部活動、人権学習などを通して、相互交流を促し、生徒が学校生活に慣れ親しみ、積極的に学習に取り組める環境となるよう指導、支援する。	・生徒会活動においては、行事の企画・運営等について生徒が協力しながら自主的に企画・運営できる能力を育成する。	B	B	・三課程での生徒会交流会を実施。他課程の現状を知り、生徒相互の理解へと繋がった。 ・多くの運動部が全国大会に出場した。また、全日制部活動との合同練習等、他課程との交流により、互いに切磋琢磨することができた。 ・文化部の減少についてはその対策が課題である。 ・通信祭を三部門構成で開催。模擬店・舞台発表の実施は生徒の出席者増加の一因になった。 ・ホームルーム活動をより充実できるよう検討が必要である。
		・部活動においては、健康面と安全面に十分配慮しつつ、共通の興味や関心に基づく活動が継続できるよう支援する。	A		
		・特別活動を通じて、生徒の自主性・自立性を高め、互いを尊重する態度を涵養することで、生徒が充実した学校生活を送れるよう、指導・援助する。	B		
6 人権教育	・生徒一人ひとりの人権意識を高め自他を個人として尊重する姿勢や態度を育成する。	・身近な人権問題を中心テーマに設定した学習会を実施し、一人ひとりの尊厳と人権を尊重する教育の推進を図る。	B	B	・「SNSの安心安全な利活用」を中心テーマとして、本校教員による講演会形式の学習会を実施した。被害者視点・加害者視点の両面からアプローチした。ネットいじめやネット犯罪等の認識・理解を深め、SNS等と「上手につき合っていく」ことの大切さに気づく端緒となった。
7 進路指導	・生徒一人ひとりの希望する進路・適性・学力を丁寧に把握し、様々な場を通じて進路に関する情報を提供することで、進路実現を支援する。	・進学説明会、就職説明会や就職セミナーを開催し、生徒が希望する進路の実現と社会的自立を支援する。 ・ハローワーク及び京都自立就労サポートセンターとの連携を通じて、就職指導の充実を図る。	A	B	・5月に進路ホームルーム、進学説明会、就職説明会を、11月に進路学習会を実施した。 ・就職セミナーおよび進路学習会では講師を招き、外部機関との連携を図つ

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自主的に進路について考え、望ましい職業観や勤労観を身につけながら、自らの進路実現に向けて、主体的に取り組む姿勢を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年部と緊密に連携して情報を共有し、個別相談・個別指導を充実させる。</li> <li>・「朱雀だより」を通じて、生徒の進路意識の向上を図る。</li> </ul>	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>た。</li> <li>・自学自習用オンライン教材を紹介し、その利活用を促進した。</li> <li>・「朱雀だより」や「進路ガイド」、校内掲示等を通じ進路意識の啓発に努めた。</li> <li>今後も、生徒の進路意識の一層の向上を図る指導を継続していきたい。</li> </ul>
8 健康 安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の健康を生徒が自ら管理できるように支援するとともに、生徒の安全管理に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮や特別な支援が必要な生徒の実態把握に努め、必要な支援を実施するため、教職員の共通理解を進める。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関とも連携をしながら、校内研修会や職員会議での情報交換をとおして特別な配慮や支援を必要とする生徒の実態把握に努め、必要に応じて対応を検討した。</li> <li>・「朱雀だより」や各種掲示等を通じて、環境美化と健康管理・増進に関する啓発を行った。</li> <li>・薬物乱用防止に関する啓発・指導については、夏季休業前に薬物乱用防止学習会を実施した。</li> <li>・各種検査・点検を定期的実施し、環境美化と学習環境の改善を図った。</li> <li>・レポート課題の設置場所を混雑回避し安全、安全が確保できる場所に移設した。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動や「保健だより」の発行を通じて、生徒自らの健康自己管理能力の増進を図るとともに心身の健康の保持と増進の啓発に努める。</li> </ul>	B		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用防止学習会を7月に実施し、生徒が薬物の害毒を身近な問題と捉えるとともに、誘惑に負けない対処法を身につけるよう指導する。</li> </ul>	B		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期環境衛生検査、校内安全点検を実施し、生徒の安全を管理し、安心して学習できる環境づくりに努める。</li> </ul>	B		
9 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会を通じて、教職員の資質を高めるとともに、教育活動に活かすことのできる実践的な研修内容を検討する。</li> <li>・卒業者数、単位修得者数の増加に向け課題解決に資する研修を企画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌が企画する教職員研修会を企画し、その実施・運営・充実に努める。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三課程合同で、授業に役立つ実践的内容の人権研修会を実施した。</li> <li>・スクールカウンセラーを講師にコミュニケーションスキルについて研修会を実施した。</li> <li>・全国、近畿の通信制教育研究会主催の各種研修会に参加し、新たな知見を得るとともに、他の教職員に還元した。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育校内委員会等を通じて、生徒理解を進め適切な対応方法等を学び教育実践に活用する。</li> </ul>	B		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国、近畿の通信制研究会の研修会等に参加し、通信制課程の教育の在り方について理解を深める。</li> </ul>	B		
10 家庭・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な情報発信による開かれた学校づくりを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朱雀だより」の発行やホームページの更新を通じて情報発信を行うとともに、生徒の使用しているアプリの有効活用の方法を引き続き研究する。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに学習システムに関する動画を掲載し、在校生以外にも広く一般に公開した。学校説明会でも活用した。</li> <li>・外部機関からの生徒情報を受け、状況に応じて担任が面談するなどし、支援</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉関係機関や児童相談所等の関係機関と連携し生徒が卒業に向けて積極的に学習活動に集中できるよう支援する。</li> </ul>	B		

		・個別相談の要望に極力応え、通信制課程への理解が深まるよう広報に努める。保護者の意見や教育活動の中で指摘のあった事項を受け止め教育活動の改善・充実に努める。	B	を行った。 ・個別相談希望者への丁寧な対応を心がけ、本課程への理解を促した。 ・ユニバーサルデザインを基本にレポート、テストの改善を行った。
--	--	--	---	--

学校運営協議会・評価委員会による評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朱雀高校の実践している様々な取組や魅力が外部に認知されている。地域との接点をもって地域と連携した活動や、全日制・定時制・通信制の三課程併設の府立高校のメリットを生かした取組をするとよい。三課程の生徒が交流する場が設定されたことは評価できる。</li> <li>・施設・設備面などでデメリットもあるが、今後もメリットを生かす方向で取組をするとよい。</li> <li>・多様な生徒が在籍しているという現状を踏まえて、今後とも多様な生徒に寄り添った指導を心掛けてほしい。</li> </ul>
--------------------	--

次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインを基調とし、多様な生徒が学びやすい指導方法、レポート(課題)、テスト等の改善を継続する。</li> <li>・ICTの活用による効果的な指導方法や教材について研究を深める。</li> <li>・三課程の生徒が交流し、相互理解と学びの機会となる取組を推進する。</li> </ul>
---------------	--

A:十分に達成できている    B:ほぼ達成できている    C:達成できているとはいえない    D:ほとんど達成できていない